

【商業科・事務情報科】 2年次 【選択】科目 「隣国ビジネス」授業のシラバス

1 概要

教科名	商業	科目名	隣国ビジネス	単位数(コマ数)	3(117)
科目の目標	ビジネスに必要な経済に関する知識を習得させ、近隣諸国の経済の動向について理解させるとともに、近隣諸国とのビジネスの創造に適切に対応する能力と態度を育てる。				
教科書(出版社)		副教材(出版社)	(授業開始後に指示・購入します)		

2 学習の方法

(1) 予習について

教科担当の先生の指示に従ってください。

(2) 授業について

毎時間の授業を大切に集中して取り組んでください。疑問点は遠慮なく質問してください。

教科担当の先生の指示に従い、授業で使用するものを確認してください。もし忘れた場合は、授業が始まる前に教科担当の先生に申し出てください。この授業で使うファイルは「プラスチックの緑」です。

(3) 復習について

授業についていけなくなるようなことがあれば、教科担当の先生に積極的に質問するなど、自ら進んで復習に取り組んでください。

〈学習アドバイス〉

近隣諸国、特にロシアと中国の経済動向に着目し、近隣諸国とのビジネスの創造の在り方について学習を深めます。
3年次学校設定教科「地域総合」科目「国際社会と根室」にもつながる大切な科目です。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	近隣諸国とのビジネスについて関心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、社会人として望ましい心構えや態度を身に付けている。
② 思考・判断・表現	国際経済や近隣諸国の経済動向に関する基礎的な知識をもとに、自ら考え工夫し、その成果を的確に表現することができる。
③ 技能	社会人として望ましい心構えや言語・文化についての基礎的な知識・技術を身に付け、具体的なビジネスの場面において適切にコミュニケーションをとることができ、合理的な業務を実践することができる。
④ 知識・理解	国際経済や近隣諸国の経済動向について基礎的・基本的な知識を身に付け、近隣諸国におけるビジネスの創造の重要性を理解している。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料		定期考査・確認テスト		小テスト	提出物	課題
観 点	割合					
① 関心・意欲・態度	25%	△	その分野が日常生活にどのように活かされているかを問うことがあります。		○	◎
② 思考・判断・表現	25%	◎	経済活動に関する諸問題についての適切な判断と、解決について思考・表現する。近隣諸国の言語を用いて、経済活動における諸事項を適切に表現できる。	○	○	○
③ 技能	25%	◎	経済活動に関する情報や資料を収集し、主体的に活用できる。近隣諸国の言語を用いて、ビジネスにおける諸事項を適切に表現できる。	○	○	○
④ 知識・理解	25%	◎	経済活動に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解を深めている。各種経済理論の位置づけとその応用範囲について理解している。近隣諸国の文化について基礎的な知識を身に付け、ビジネスや経済活動の理解に資することができる。	○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

●卒業後、社会の即戦力になれるよう、近隣諸国とのビジネスに関するスキルを身に付けてください。

【商業科・事務情報科】 2年次 【選択】科目 「隣国ビジネス」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	1. ビジネスと経済	9	資源の希少性 資源配分 市場経済と計画経済 競争市場・独占市場・寡占市場	①	ビジネスと経済の仕組みについて関心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、社会人として望ましい心構えや態度を身に付けている。	前期中間考查
5		12	需要・供給と価格決定 限界費用逓増 価格弾力性	②	経済社会に関する基礎的な知識をもとに、自ら考え工夫し、その成果を的確に表現することができる。	
6		9	均衡価格と市場価格 経済循環 景気変動	③	社会人として望ましい心構えを身に付け、具体的なビジネスの場面において適切にコミュニケーションをとることができ、合理的な業務を実践することができる。	
				④	ビジネスと経済の仕組みについて基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの創造の重要性を理解している。	
7		12	企業の国際化とグローバル化 地域経済統合 国際収支	①	国際経済の仕組みについて関心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、社会人として望ましい心構えや態度を身に付けている。	
8		6	国際資本移動 外国為替 金融市場 資本市場	②	国際経済に関する基礎的な知識をもとに、自ら考え工夫し、その成果を的確に表現することができる。	
9	2. 日本経済と世界経済	9		③	社会人として望ましい心構えを身に付け、具体的なビジネスの場面において適切にコミュニケーションをとることができ、合理的な業務を実践することができる。	前期期末考查
				④	国際経済の仕組みについて基礎的・基本的な知識を身に付け、近隣諸国におけるビジネスの創造の重要性を理解している。	
後期 10		15	企業の海外進出 企業の現地化 地域経済と地域社会への貢献	①	近隣諸国とのビジネスについて関心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、社会人として望ましい心構えや態度を身に付けている。	
11		15		②	近隣諸国の経済動向に関する基礎的な知識をもとに、自ら考え工夫し、その成果を的確に表現することができる。	
12		9		③	社会人として望ましい心構えを身に付け、具体的なビジネスの場面において適切にコミュニケーションをとることができ、合理的な業務を実践することができる。	
				④	近隣諸国の経済動向について基礎的・基本的な知識を身に付け、近隣諸国におけるビジネスの創造の重要性を理解している。	
1	3. 日本と近隣諸国のビジネス	6		①	近隣諸国の言語・文化について関心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、社会人として望ましい心構えや態度を身に付けている。	後期中間考查
2		9	アルファベット 名詞表現／人称代名詞 疑問詞／挨拶と会話 疑問文／丁寧な命令文／許可と禁止 所有代名詞 命令形 動詞第1変化／第2変化 前置格／代名詞	②	近隣諸国の言語・文化に関する基礎的な知識をもとに、自ら考え工夫し、その成果を的確に表現することができる。	
				③	社会人として望ましい心構えや言語・文化についての基礎的な知識・技術を身に付け、具体的なビジネスの場面において適切にコミュニケーションをとることができ、合理的な業務を実践することができる。	
3		6	母音／子音／鼻音を伴う母音 肯定文／否定文／疑問文 ／反復疑問文／質問文 形容詞が述語となる文	④	近隣諸国の言語や文化について基礎的・基本的な知識を身に付け、近隣諸国におけるビジネスの創造の重要性を理解している。	
	4. 隣国の言語・文化を学ぶ (1) ロシア語					後期期末考查
	(2) 中国語					
		計 117				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。